



長澤会長のあいさつ

● 本会が事務局をつとめる山梨県食品産業協議会（会長 長澤利久）は、1月18日（月）にびゅうあ総合（山梨県立男女共同参画推進センター）において「新たな市場創造を目指して」をテーマに研修会を開催した。

● 第1部の講演会では、「生活創造へのマーケティング・コラボレーション」の演題で駒澤大学経営学部市場戦略学科の青木茂樹教授が講演を行った。

● 具体的な事例を交えた講演で、その要旨は次のとおり。

● 京野菜は単に風土に合っているから生産されているのではなく、大消費地の京都・大阪のニーズに合致したマーケティングが行われているから、現在でも人気がある。

● 食材はマーケットとリンクしており、ブランド化、新しい切り口、パブリシティによる広報、一丁を活用した生産方式の工夫などが必要。

● 作り手と買い手の人間関係を共有関係にまで高める。

● スーパーにはない信頼・絆という交流ネットワークづくり

● 企業、顧客、大学、行政などが連携して価値創造をしていくクロス・バリューが有効であり、対面だけでなくメールやブログなどで情報共有を行う。

● 目先のことではなく、未来を見据えた連携を行う。

● 第2部のパネルディスカッションは、「新たな市場創造への挑戦」をテーマに青木教授のコーディネイトによりパネルディスカッションが行われた。

● 五味 仁（五味醤油株式会社）

● 農家との連携による醤油造り、大豆レポリューションへの参加などにより徐々に活動範囲を拡げている。

● 年1回、自社の敷地内で参加型イベントを実施しており、300名ほどの集客がある。

● イベント自体での収支はまだまだであるが、将来の消費者をつくるという長い目で見て、人間関係をつくっている。

● 楽しく商売をしたいという考えで、将来的には醤油を復活させ、商業ベースに乗せたい。また、甲州味噌の認知度を上

● 岡本貴之（アリス洋菓子店）

● 若手洋菓子職人のグループである「喜和味」の活動は5年になる。同業種の店は、商圏が重なるトギスギスするが、9店は胸襟を開いた関係である。テーマを決めるときには喧々諤々の議論を行う。

● 喜和味のブランド化を図りたいと考えており、知られていない外国のお菓子を紹介するなど、消費者のレベルを上げていきたい。

● 今後は、野菜のお菓子やアレルギーの子供でも食べられるお菓子の開発を行う。

● 古屋賢一（株式会社青春カンパニー）

● 「お食事処 川」を経営しているが、「奈の」は、仕入れ先を一新し、社長が農家へ直接仕入に行っている。

● 袋詰め、規格揃えなどの農家の手間を省くため、コンテナによる仕入を行っている。キズ野菜も受け入れている。（加工す



左から古屋賢一、岡本貴之、五味仁の各氏

地域資源の有効活用・農商工連携セミナーを開催

山梨県食品産業協議会



山梨県中小企業団体中央会機関誌
平成21年度中小企業組合活性化情報

3月号

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

2010年
第637/215号
(毎月1日発行)

2月の出来事

●時 事

- 1日 都心で初積雪 交通に乱れも
- 4日 朝青龍引退表明、会見で涙も
- 8日 キリン、サントリー統合決裂
- 9日 中国 09年輸出が世界トップに
- 13日 バンクーバー冬季五輪開幕
- 20日 ベルリン国際映画祭、寺島しのぶ銀熊賞

●山梨県中央会ニュース

- 12日 中小企業労務改善団体連合会
新年講演会・交流会
- 18日 第9回正副会長会議
事務連絡協議会新春研修会・交流会
- 25日 第15回組合まつり出展者会議

3月の予定

- 7日 第15回中小企業組合まつり
- 24日 第10回正副会長会議
平成21年度第4回中央会理事会

今月の見どころ

- 1面 山梨県食品産業協議会による農商工連携セミナーを開催
- 5面 事務連絡協議会、労改連ともに新春交流会を開催
- 6面 インターンシップ成果報告会
- 8面 いよいよ開催!中小企業組合まつり
その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215 FAX 055(237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

中小企業関係税制に関する改正

法人税率の改正

中小企業者等の平成21年4月1日から平成23年3月31日までの間に終了する各事業年度の所得の金額のうち、年800万円以下の金額に対する法人税の軽減税率が22%から18%に引き下げられました。また、連結納税制度においても、中小企業者等（協同組合等又は特定医療法人を除きます。）が連結親法人である場合の税率については単体制度と同様に、協同組合等又は特定医療法人が連結親法人である場合の税率については年800万円以下の金額に対する法人税の軽減税率が23%から19%に引き下げられました（措法42の3の2、68の8、措令27の3の2、39の38の2）。

なお、改正後の税率は次のとおりです。

区 分		所得金額	H11.4.1以後 開始事業年度	H21.4.1以後 終了事業年度
協同組合等	年800万円以下の部分		22%	18%
	年800万円超の部分		(23%)	22%
の 普 な 通 い 法 社 人 団 人 等 格	中小法人等又は 人格のない社団等	年800万円以下の部分	22%	18%
		年800万円超の部分	30%	30%
	中小法人等以外の法人及び相互会社		30%	30%
一般社団法人等及び公益法人等 とみなされている法人	年800万円以下の部分		22%	18%
	年800万円超の部分		30%	30%
公益法人等	年800万円以下の部分		22%	18%
	年800万円超の部分			22%
特定医療法人	年800万円以下の部分		22%	18%
	年800万円超の部分		(23%)	(19%)
				22%
				(23%)

※表中の（ ）書きは、協同組合等又は特定医療法人が連結親法人である場合の税率。

●適用時期

平成21年4月1日以後に終了する事業年度分の法人税について適用（改正法附則38,54）

欠損金の繰戻還付

欠損金の繰戻還付とは、青色申告書を提出する事業年度において欠損金額が生じた場合（欠損事業年度）に、その事業年度の前1年以内に開始した事業年度（還付所得事業年度）にその欠損金額を繰戻して、還付所得事業年度の法人税額を還付請求する制度です。

この規定は、平成4年4月1日から平成21年3月31日までの間に終了する事業年度において生じた欠損金額については、解散の事実が生じた場合などを除き、原則として適用が停止されていましたが、資本金の額が1億円以下の法人などの中小法人等は平成21年2月1日以降終了する事業年度に生じた欠損金額について、欠損金の繰戻還付が認められました。

●要件

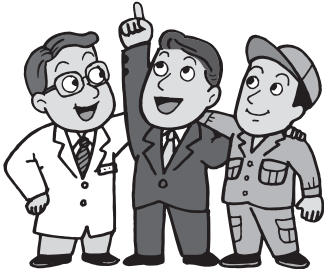
- ①還付所得事業年度から、欠損事業年度まで連続して青色申告の確定申告書を提出していること
- ②欠損事業年度の確定申告書の提出期限までに繰戻し還付請求書を確定申告書と同時に提出すること

●適用時期

平成21年2月1日以後に終了する事業年度において生じた欠損金額について適用。同日前に終了した旧措置法第66条の13第1項本文に規定する事業年度において生じた欠損金額については、改正前の規定が適用。（改正法附則47,62）

※中小企業者等とは、

- ①中小法人等（普通法人のうち各事業年度終了の時ににおいて資本金の額若しくは出資金の額が1億円以下であるもの又は資本若しくは出資を有しないもの（保険業法に規定する相互会社等及び特定医療法人を除く。））
- ②一般社団法人等（法別表第二に掲げる一般社団法人及び一般財団法人並びに公益社団法人及び公益財団法人。）
- ③公益法人等とみなされている法人（認可地縁団体、管理組合法人、団地管理組合法人、法人である政党等、防災街区整備事業組合、特定非営利活動法人及びマンション建替組合（措令27の3の2）
- ④公益法人等（法第2条第6号に規定する公益法人等のうち、一般社団法人等と公益法人等とみなされている法人を除いたもの。）
- ⑤協同組合等（法第2条第7号に規定する協同組合等。）
- ⑥特定医療法人（措法第67条の2第1項に規定する承認を受けた医療法人。）
- ⑦人格のない社団等



今、物産館が熱い

東京の銀座に日本全国、47都道府県の『全国の名産品』とフジテレビの番組である『めざましテレビ』とのコラボレーションによる「銀座めざましテレビ」がオープンした。地下1階、地上13階のビルに「おいしい日本」「楽しい日本」がぎゅっと詰め込まれている。物産品の販売だけでなく、各地の食材を使用したメニューを楽しめるカフェ、レストラン、酒場も併設しており、観光客が連日押し寄せている。

東京には全国の都道府県のアンテナショップがあり、旅行会社や検索サイトの人気ランキングでは、海産物や菓子などの名産品が多い北海道が首位で、料理や食材に定評のある府県が上位に並び、2位は沖縄、3位は東国原英夫知事のPRも功を奏したのか宮崎県である。4位は調査により異なり、日本酒や海産物の豊富な新潟県、又は芋焼酎や黒豚で知られる鹿児島県、5位は伝統があり、京料理や和菓子で知られる京都府である。

ある調査の回答者の80%が物産館やアンテナショップに行ったことがあり、このうち65%が物産館に行った後にその土地を旅行したと答えたという。

山梨県のアンテナショップである「富士の国やまなし館」の入館数・販売金額も伸びており、定期的に出版しているところには常連客がついているという。

「物産館」の小さなブームが起きている今こそ、新たな販路開拓を行うチャンスであり、意欲的な挑戦が期待される。

ibuki
息吹

山梨県中小企業団体中央会
情報連絡員報告

(平成22年1月分)

本県の1月の景況は、全業種のDI値では、売上高-32(前年同月比+28)、収益状況-48(前年同月比+20)、景況感-52(前年同月比+24)と依然としてDI値はマイナス水準にあるものの、前年同月比、前月比ともに全項目においてポイントが改善傾向にある。

業種別のDI値で見ると、製造業は、売上高-45(前年同月比+15)、収益状況は-50(前年同月比+25)、景況感-45(前年同月比-35)と売上高、収益状況、景況感ともにポイントの改善が見られ、前年同月比と前月比で、全ての項目で改善している。

非製造業でもDI値は、売上高-23(前年同月比+37)、収益状況-47(前年同月比+16)、景況感-57(前年同月比+16)と前年同月比と前月比で、全項目においてポイントの改善が進んでいる。

政府発表の1月の月例経済報告では「景気は持ち直してきている」との基調判断を6ヶ月連続で据え置いたものの、失業率が5%台と高いこと、産業全体で設備投資が横ばい状態であることを受け、国内経済は、依然厳しい状況で自立的な回復には至っていないとしている。

一方、本県の1月の景況は、前年同月比、前月比ではともにDI値が改善傾向にあるものの、依然としてDI値は低い水準で推移している。

各業界の連絡員からの報告では、受注が少ない現状や見通しが立たない状況への不安などが多く見受けられ、依然として県内中小企業を取り巻く環境は厳しい状況であり、「景気が持ち直している」実感を得ることは出来ない。



業界の動き

データから見た

優柔不断・信頼できない」と新政権の政策への不満が表れた結果となった。

トピックス
今回は、昨年(21年)と比較した今年の各業界の景況感(予測)について聞いた。

この調査では、昨年と比べて「良くなる」「変わらない」「悪くなる」から選択してもらい、その理由を簡潔に書き添えてもらった。結果は次のとおり。

製造業では20組合(連絡員20人)中、「良くなる」との予測が、わずか2組合、「変わらない」が6組合、これ以外は全て「悪くなる」との予測であった。

非製造業30組合(連絡員30人)中、「良くなる」との予測が2組合、「変わらない」が1組合となり製造業と同様に、圧倒的に「悪くなる」との予測が上回る結果となった。

「悪くなる」とした予測の製造業・非製造業の共通の理由としては、「景気の見通しが全く立たない」、「個人消費の低迷が続いている(さらに減退する)」、「政治不信」などが多く、「変わらない」とした理由では「政府の経済対策に期待がもてない」「政府の政策が

業界から一言

製造業

●食料品(洋菓子製造)／今年は年回りが良好で結婚式の需要増が見込まれる。

●繊維・同製品(織物)／老舗デパートの撤退が相次いでいる。商談の決定スピードが遅くなっている。国内の生産調整は進んでいるが、在庫は多い。借入金金の底が見えだした企業が多い。

●木材・木製品製造／木材販売は何とか去年を上回ったがプレカット加工は大幅に減少。今年の住宅着工は去年より減少と予測。

●窯業・土石(砂利)／河川工事大量に発注され、売上

非製造業

●卸売(紙製品)／中国の需要が増えつつあるが、余剰感は無くなってきた。国内発生が下落しているため、仕入れ競

争が一部で始まっている。他の要因としてはアメリカ向け古紙の輸出経費高、国の補助削減等により中国輸出の減少。

●小売(食肉)／年末の活気が一気に冷え込み、客数・客単価ともに昨年を割り込んだ。また、デフレ状況に押され小売価格・卸売価格が押さえられ収益があらならない。現金客が減少し、資金繰りもきびしい現状。

●小売(石油)／世界各地での強い寒波が国内需要増を押し上げ、また原油高と為替レートの円安ドル高によるコストの上昇により、3油種とも5円程度の値上げとなった。2月はガソリン価格は据え置き、軽油・灯油は値下げとなる予想。

建設業

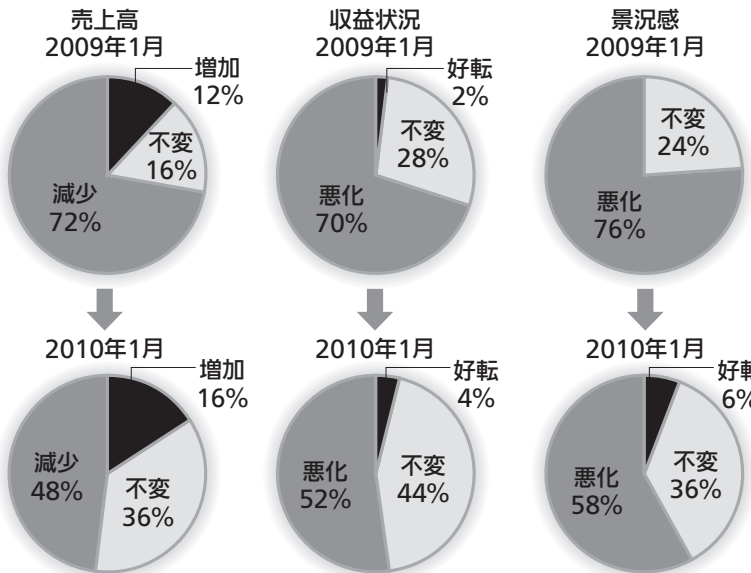
●建設業(総合)／年度末に向けて工事発注は増えているが、大型工事が多く、1000万円前後の小規模工事の発注が少ないため、小規模零細事業者には厳しい。

●建設業(型枠)／民間工事が極端に少ない今、数少ない公共工事に多くの業者が集まり、極端に安い単価で仕事を受ける業者も多い。

●設備工事(管設備)／水道施設の品質向上により、修理工事が減少。

●運輸(バス)／もともとオフシーズンだが、少ない仕事に更に減っている。軽油も値上がり。春の観光シーズンまで忙しくなることはない予想。

データから見た業界の動き (平成22年1月分)



業界の声



山梨県葬祭事業協同組合
理事長 保坂 孝夫氏

業界の現況は？

当組合は現在、県内14社の葬儀社により組織されています。組合員はそれぞれが代々続いてきた歴史ある葬儀社が多く、地域の習慣や宗教儀礼をわきまえた安心して葬儀を任せられる専門業者の集まりです。以前は地域の繋がりが強く葬儀は地域の世話役が取り切り、自宅や公民館、寺院を利用して行われてきました。延々と続いたそんな時代も終止符が打たれ、この十年ほどで県内も葬祭会館での葬儀がすっかり一般的なものとなりました。

現在、県内には70を超える葬祭会館があり、早くも過当競争の時代に突入しています。また最近の葬儀は、簡略化の方向が非常に強まっており、家族葬、直葬等地域コミュニティの希薄化により葬送儀礼文化が偏った方向へ進んでいるように思います。今後はさらに葬儀規模の縮小が進み葬儀費用の下降は避けられないと予想されます。しかし、人を中つという儀式が軽視され、生命の大切さが忘れ去られてはいけません。だからこそ今、我々の組合は人間としての尊厳を守り、葬儀の重要な意義を訴え、葬送儀礼文化を次世代に伝えて行く努力をしています。

今後の展開は？

組合設立から、今年で33年目を迎えます。当時、現在のような葬儀状況になると予想した人は誰もいなかったと思います。そのくらい我々の業界は劇的な変化をとげました。しかし、人は誰でもいつか必ずこの世を去るという事実と大切な人を亡くした遺族の悲しみは変わることがないでしょう。一度きりの儀式を後悔しないためにも葬儀について真剣に考えることは大切なことです。当組合は解りにくいといわれる葬儀価格、葬儀内容の明確化、正しい葬儀情報の提供、事前相談会の開催等と開かれた業界を目指しています。また、研修会を積極開催し、人生最後のセレモニーに相応しい質の高いサービスの提供を目指して頑張っています。県内全ての地域で対応可能な唯一の組織となる当組合は14社のネットワークを生かし、さらに信頼される葬儀社となるよう努力していきます。



組合の研修風景

TOPICS 山梨県菓子工業組合

山梨の菓将たちが『兵糧丸』を創作!!

ACTIVE KUMIAI

山梨県菓子工業組合（志村武彦理事長）は、甲斐の新しい銘菓『武田兵糧丸』（商標登録済・平成21年12月7日）を開発した。

「兵糧丸」とは、戦国時代の武将が戦場で用いていた携帯用保存食を言い、この「兵糧丸」を現代風に、栄養豊富で美味しい、誰もが食べやすいお菓子に仕立てられた。今回再現された『武田兵糧丸』は、組合統一のネーミングで、商品は各自戦国時代の兵糧丸の材料は、そば粉、餅粉などの粉類、キビ、きな粉などの穀類、松の実、胡桃、柿の葉などの木の实、豆類、人参、梅干、卵、砂糖、生姜、竹炭・みそ・酒など地元の健康野菜等を原料としている。山梨の菓将たちが各々のこだわりの銘菓は、武田24将にちなんで創作され、24将隊食それぞれ味も形が違うのも特徴である。



製作イメージ

なお、商品のデビューは、4月10、11日の二日間に行われる第40回信玄公まつり特設ブースと、12日の武田24将騎馬行列で（武田神社）で販売する。一同に味を楽しむのは、この3日間の特設ブースのみとなるので、ぜひこの機会に甲斐の新しい銘菓『武田兵糧丸』をお求めを。



巾着用

その後は、セット品について、中央会が県内外のイベントに販売し、単品については製造業者が時点のみで販売する予定。

TOPICS 山梨県化粧品小売協同組合・女性部

美しさは、健康から始まる!!

ACTIVE KUMIAI



体験談を語る遠田文江氏(右)

「メント」は、女性を中心に定着している。

しかし最近では、「ヒザの関節が痛い」「風邪をひきやすい」など、お客様から美容以外の相談も多くなっていることを受け、美容に気を配る女性たちの間で定着しつつあるアンチエイジング系サプリメントと化粧品を組合せた接客や独自の店頭活動を積極的に展開している神奈川県相模原市・有明会社代表取締役 遠田文江氏を招き「若さづくりはコラーゲンづくり」と題して行われた。

「コラーゲンやヒアルロン酸、ロイヤルゼリーなどの往年の人気サプリメントをはじめ、コエンザイムQ10などの抗酸化サプリメントもアンチエイジング系として定着してきました。マスコミで食材にスポットがあたりアンチエイジングやダイエットに効果があると専門家のお墨付きをもらった食材は翌日スーパーで売り切れ続出になります。しかし、お客様のなかには、サプリメントって効いてるのか効いていないのか今ひとつわからないという声を聞きます。そこで、私はお客様にお勧めする前に事前に自分で体験したことやメーカーセミナーなどで受けた内容をPOPやチラシにしてお客様に情報を伝えていきます。」と、ご自身の体験談も併せて熱く語った。

参加者からも、「お客様へPOPやチラシを通して情報を伝えることの大切さを再認識した。」「接客する際のポイントがよく理解できた。早速、自信を持ってお客様に教えてあげたい。」と、一人一人が手応えを感じた研修となった。



会場風景

TOPICS クリーンネット笛吹協業組合

さらなるサービスの向上を目指して

ACTIVE KUMIAI

クリーンネット笛吹協業組合（理事長・藤巻眞史）は、平成21年度山梨県中小企業団体中央会モデル組合指定事業を活用し、講演会の開催及びパンフレットの作成を行った。

当組合は、経済事業である生活系廃棄物及び資源物の収集運搬事業の他に、市と一体となりCO₂削減に有効な手段と考えられる3R（Reduce…減らす、Reuse…繰り返し使う、Recycle…再資源化）の実施を呼びかけて市内の環境活動に取り組んでいる。これは、組合の経済事業の受注減額に繋がることが想定されるが、笛吹市が掲げる生活系可燃ごみの53%減量目標に賛同し、取り組みに協力している。関連事業として市の職員と連携しBDF精製事業や清掃ボランティア（歩いて町をきれいにしよう会）等を実施しており笛吹市内の環境活動にも寄与している。

また、当組合は、官公需の受注に対し十分に責任をもって履行できる体制が整っていることを証明する「官公需適格組合証明」の他に、環境省が策定したガイドラインに基いて環境活動を行っている事業者に対して与えられる「エコアクション21」を山梨県内の中小企業組合で初めて取得するなど、行政等から高い信頼を持ち合わせている。



BDFを燃料としたトラックについて説明

今回の講演会では、組合員及び組合従業員のサービス力向上を目的に「成功はバクトルの共有から」というテーマで実施するなど、市民に対するさらなるサービスの向上を目指し活動が続いている。



清掃ボランティアの実施

●山梨県中小企業労務改善団体連合会

身も心も リフレッシュ!!

山梨県中小企業労務改善団体連合会(大宮山磐会長)は、去る2月12日笛吹市石和町「ホテル千石」において、恒例となった新春交流会を開催した。

県内の雇用情勢は、一昨年の秋以降、厳しい雇用状況が続いている。1月29日に発表された、12月の県内有効求人倍率は0.45倍で、3ヶ月ぶりに改善となり、県内の景気は持ち直しつつあるが、依然低水準で「景気の二番底」への懸念もあり、引き続き厳しい雇用状況となっている。

そうした中、当連合会は地域の労務改善事業の推進と会員(19団体)が行う事業の健全な発展と、労働者の経済的、社会的地位の向上を目的としており、職場環境や労務管理等の改善に関する調査の実施、各種セミナー・講演会、表彰式典・大会の開催、機関誌発行及び資料図書の配布による情報提供やアドバイザーを設置し、労働相談業務も積極的に実施している。

今回の交流会では、このような厳しい状況の時こそ中小企業が元気を出そう、このような時こそ中小企業が団結しこの難関を乗り切っていこうと、記念講演として、コアスポーツプラザインストラクター早川きみ代氏招いて講演が行われた。

～体の健康と心の健康～と題して行われた講演会では、実際に身体を動かしながら日頃の運動不足の解消方法や、中身からリフレッシュするための運動を学んだ。



インストラクター 早川きみ代氏



時折、実演も交えて行われた。

甲州財閥について学ぶ

●山梨県中小企業組合等事務連絡協議会



講師の坂本宏氏

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(菅原五男会長)の新春研修会・交流会が、2月18日甲府市の「中央会研修室」で会員多数の出席のもと開催された。

新春研修会では、「山梨の経済と活躍した人々」をテーマに、山梨の経済、文化等の研究活動を精力的に行っている山梨産業文化研究所代表の坂本宏氏より講演が行われた。

講演は、山梨の経済の特徴、根津嘉一郎や雨宮敬次郎、小林一三などいわゆる「甲州財閥」と呼ばれた人たちの存在と意義、甲州財閥が実践した経営革新など、経営革新を実践した郷土の先人たちについて、当時の時代背景を含めてわかりやすく解説した。

また、県で永く商工行政に携わった経験から組合についても理解があり、山梨の経済の展望の中で、組合の重要性を強調した。

研修会終了後はティーパーティーが行われ、活発な質疑応答や情報交換があり閉会した。

当協議会は、昭和47年に「山梨県中小企業団体事務長会」として設立され、平成18年に会員資格を従来の事務主任者から組合事務局職員にまで拡大し、組合事務局の資質の向上を目指した研修事業と会員相互の情報交流を中心に事業を展開しており、46組合、会員数60名で構成されている。



あいさつをする菅原会長

高齢者の雇用促進を!

～高齢者雇用促進セミナーを開催～

求職者雇用開発助成金等についての活用方法を説明し、積極的な活用を企業等に促した。

第2部では、「高齢者雇用の必要性と進め方」と題して、講師に社会保険労務士の小澤一仁氏を招き、高齢者雇用安定法に基づく雇用確保措置について説明が行われた。講演では、高齢者雇用安定法に伴う確保措置の段階的引き上げについて、また高齢者雇用に伴う高齢者雇用継続給付金を活用した人事処遇制度等を説明し、雇用確保措置の確実な実施を促した。

第3部では、「70歳まで働ける企業のメリットと進め方」と題して、講師に社会保険労務士の赤池幸江氏を招き、70歳まで働ける企業づくりについて説明が行われた。講演では、70歳まで働ける企業づくりに関するデメリットを紹介した上で、それらをメリットに転換する方策について説明し、企業等の積極的な高齢者雇用を促した。

参加者はみな真剣に聴講し、その中には「高齢者雇用制度の導入に参考になった」、「高齢者等のメリットを上手く活用していきたい」、との意見もあった。



受講する人事担当者ら

本会は2月2日(火)、ホテルクラウンパレス甲府にて「高齢者雇用のススメ!!」と題した事業主向けのセミナーを開催した。今回は、本会にて山梨労働局より受託を受けている「地域団塊世代雇用支援事業」及び「70歳まで働ける企業」創出事業のセミナーを同時開催した。

第1部では、「知って得する雇用助成金の活用方法」と題して、講師に山梨労働局職業対策課雇用開発係長の徳永隆志氏を招き、中高年齢者の雇用に係る助成金の活用方法について説明が行われた。講演では、定年引上げ等奨励金、特定



第2部にて講師を務める
社会保険労務士 小澤一仁氏

平成
22年度

予算に係る戦略的基盤技術高度化支援事業の 公募について（予告）

制度の目的

我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（ casting、鍛造、切削加工、めっき等）の高度化に資する研究開発から試作段階までの取組を促進することを目的としています。

特に、複数のものづくり中小企業者と、川下製造業者や大学、公設試験研究機関等が広がりをもって連携した取り組みであって、本事業の成果を活用した製品等が明確となっている、具体的な提案を支援することとします。

応募対象事業

本事業の応募対象は、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律（以下「法」という。）第3条に基づき経済産業大臣が定める「特定ものづくり基盤技術高度化指針」に沿って策定され、法第4条の認定（法第5条の変更認定を含む）を受けた法認定計画を基本とした研究開発等の事業になります。

応募対象者

法の認定を受けたものづくり中小企業者を含む、事業管理機関、研究実施機関、総括研究代表者、副総括研究代表者、アドバイザーによって構成される共同体を基本とします。共同体の構成員は、日本国内に本社を置いて、かつ、日本国内で研究開発を行っていることが必要です。

共同体の構成員には、法認定申請を行い、認定を受けた「申請者」と「共同申請者」（以下「法認定事業者」）及び協力者を全て含む必要があります。

本事業への応募者は、事業管理機関です。事業管理機関は、研究開発計画の運用管理、共同体構成員相互の調整を行うとともに、財産管理（知的所有権を含む）等の事業管理及び研究開発成果の普及等を主体的に行う者です。

公募期間

平成22年3月1日（月）～4月22日（木）

※本公募は、平成22年度予算の国会での成立を前提とするものです。このため、今後内容等が変更になることもありますので、あらかじめご了承ください。

研究開発期間と研究開発費の規模

研究開発期間	2年度又は3年度
研究開発規模（上限額）	平成22年度（平成23年3月31日まで）に行う研究開発に要する費用の合計額（税込）が、4,500万円以下。
想定件数	1件当たり4,500万円として、270件程度採択予定。

特定ものづくり基盤技術（20技術）

1. 組込みソフトウェアに係る技術	11. 金属プレス加工に係る技術
2. 金型に係る技術	12. 位置決めに係る技術
3. 電子部品・デバイスの実装に係る技術	13. 切削加工に係る技術
4. プラスチック成形加工に係る技術	14. 織染加工に係る技術
5. 粉末冶金に係る技術	15. 高機能化学合成に係る技術
6. 溶射に係る技術	16. 熱処理に係る技術
7. 鍛造に係る技術	17. 溶接に係る技術
8. 動力伝達に係る技術	18. めっきに係る技術
9. 部材の結合に係る技術	19. 発酵に係る技術
10. 鋳造に係る技術	20. 真空の維持に係る技術

問い合わせ先 関東経済産業局 産業部 製造産業課 TEL:048-600-0307 山梨県中小企業団体中央会 連携支援課 TEL:055-237-3215

平成22年3月卒業
就職未内定者限定新卒者就職応援
プロジェクトのご案内

長期間の職場実習で

元気な企業 と やる気のある人材 との出会いを！

中小企業は大企業と比較して、求める人材を確保するという点において厳しい面がありますが、今般の雇用情勢の変化は、中小企業が将来の中核人材となりうる人材を確保するチャンスと捉えることもできます。
また今年度の新卒者の内定状況は大変厳しい状況にあります。このため平成22年3月に高校・大学等を卒業する就職先が未内定の方を対象に中小企業の仕事現場に触れる機会を提供するとともに、中小企業で働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を得てもらうための長期間の職場実習（いわゆるインターンシップ）等を実施することにより、中小企業の人材確保を支援することを目的としています。



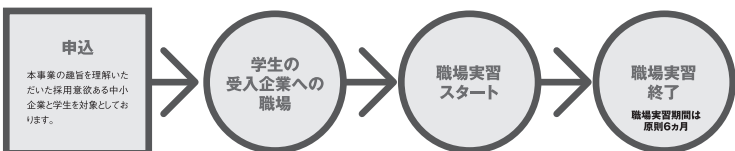
受入企業のメリット

- 1 職場実習（いわゆるインターンシップ）期間を通じて自社にマッチした人材を見極める事ができます。
- 2 教育訓練費助成金が入入れにつき日額3,500円が支給されます。
※助成金は、課税の対象となります。
- 3 職場実習（いわゆるインターンシップ）を円滑に実施するカリキュラムを提供しますので、職場実習のノウハウが無くても安心です。職場実習期間には適宜キャリアカウンセラー等専門家からアドバイスが受けられます。

参加学生（実習生）のメリット

- 1 職場実習（いわゆるインターンシップ）期間を通じて働く上で必要とされる技能・技術・ノウハウ等を得ることができます。
- 2 職場実習期間には適宜キャリアカウンセラー等専門家からアドバイスが受けられます。その後の就職に関することも相談のります。
- 3 職場実習期間中、実習生には技能習得支援助成金（日額7,000円）が支給されます。※助成金は、課税の対象となる可能性があります。

※1 青少年の健全な育成の観点から不適切な業種・業態などは本事業の対象となりません。
※2 職場実習の実施にあたっては、実習生、受入企業、コーディネーター機関の三者でご確認いただく内容がございます。



職場実習スタート → 平成22年4月1日から随時開始

問い合わせ先 山梨県中小企業団体中央会 TEL.055-237-3215
〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1 山梨県中小企業会館4階

インターンシップ成果報告会開催



体験報告を行う大学生

当会は、去る2月22日、甲府市「ベルクラシック甲府」において、「平成21年度インターンシップ成果報告会」を開催した。

この事業は、平成14年度から実施している「インターンシップ受入開拓事業」の成果報告の場として行われたもので、インターンシップに参加した学生、受入側である企業及び大学生の担当者約30名が参加した。

若年層を中心とした雇用問題が社会・経済に及ぼす影響が懸念されており、若年者、特に学生の就職観や就業意識を高めることが急務となっている。「インターンシップ」は、学生の就業意識等の醸成に効果が期待され、若年者等が、職業観や就業意識を高めていくために最も適した制度であると考えられている。

そこで、インターンシップに対する認識をさらに広く一般に普及啓蒙を行いながら、幅広く新規の企業開拓を行うことで、大学や学生等との結合を促進し、大学生等の就業意識の醸成、実践能力の向上を図りながら、企業側の学生採用意欲喚起に繋げていくことが重要視されている。

3年目となる今年は、本事業を通じて過去最多となる224名の学生が県内企業・団体でインターンシップに参加した。本報告会で、学生からの就業体験報告、受入企業や大学からはインターンシップを振り返り、それぞれの立場からインターンシップの実施効果や意義、更には要望等活発な意見交換が行われた。

なお、本事業は、当会として実施するのは本年度をもって終了することになっている。事業開始からこれまで延べ1,106人の学生がインターンシップに参加したが、本事業を通じて多くの学生が社会で活躍していることを最後に申し添える。



会場風景



ストップ温暖化！！

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起っているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任をもって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。

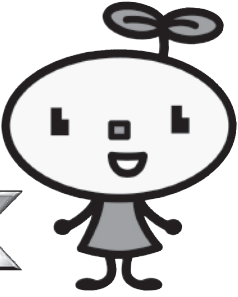
(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

退職金準備等をお考えの経営者の皆様に！

山梨県中央会共済制度

◎特定退職金制度…
大企業並みの退職金制度が確立できます。

◎総合保障プラン…
集団扱定期保険により割安な掛金です。



こたえる保険
ベクトルX

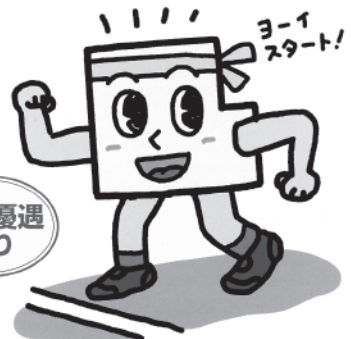
引受会社
三井生命保険株式会社

〒400-0031 甲府市丸の内1-17-10 東武穴水ビル8階
TEL055-224-3152

山梨中央銀行 www.yamanashibank.co.jp/

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート



金利優遇あり

- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

※審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめ御了承ください。

くわしくは山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ 0120-201862

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00
ただし、銀行休業日は除きます。

情報BOX

本年3月分から 協会けんぽの保険料率が変わります

協会けんぽの健康保険料率については、厳しい経済状況の中で大幅に保険料収入が落ち込む一方、医療費の支出が増え、協会けんぽの財政は非常に厳しい状況となっており、本年3月分の保険料(4月納付分)から山梨支部の健康保険料率は9.31%に大幅な引上げを行わざるを得なくなりました。

厳しい経済状況の中での大幅な引き上げではありませんが、加入者の皆様の医療と健康と生活を支えるため、事業主・加入者の方々には、このようなご負担につきまして、何とぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、介護保険料率につきましても健康保険料率と同様、3月分の保険料(4月納付分)から1.50%に引上げられます。

●山梨支部の健康保険料率●

40歳未満の方 および 65歳以上の方		40～64歳までの方 (介護保険料が掛かる方)	
現行	平成22年3月分 (4月納付分)～	現行	平成22年3月分 (4月納付分)～
8.17%	9.31%	9.36%	10.81%

●全国健康保険協会山梨支部(協会けんぽ)山梨支部 電話055-220-7750

個々の労働者と使用者の間の トラブル解決を援助します！

個別的労使紛争のあっせん制度

山梨県労働委員会では、使用者の方(事業主)と働く方(個々の労働者)との間に生じた労働条件などのトラブルの円満な解決をお手伝いするために「あっせん」を行っています。使用者の方からのあっせん申請もできますので、どうぞご利用ください。

無 料



秘密厳守

Q あっせんの具体的なイメージがわからないのですが？

A あっせん会場で使用者と労働者が対面するのは、最初と最後のあいさつのときだけです。それ以外の時間は、あっせん会場には使用者または労働者のいずれかが残り、それぞれの主張は、あっせん員を通して相手側に伝えます。使用者と労働者が面と向かって、それぞれの主張を言い合うのではありません。

Q あっせん員には誰がなるのですか？

A 労働委員会の委員のうち、公益委員(弁護士等の学識経験者)、労働者委員(労働団体役員など)、使用者委員(会社経営者など)から1名ずつ指名され、合計3名であっせんを行います。

Q Q: あっせんを申請するにはどうしたらよいですか？

A A: まずは中小企業労働相談所(山梨県県民生活センター内・電話055-223-1366)に紛争の内容を相談してください。そのうえであっせんを希望する場合は、あっせん申請書を労働委員会に提出してください。

Q あっせんの申請から当日の出席まで、代理人にすべて任せたいのですが？

A 弁護士または特定社会保険労務士は個別的労使紛争のあっせんの代理人となれます。ただし、あっせんでは、本人の意思の確認が求められることがありますので、本人も一緒に出席した方が良いでしょう。

●甲府市丸の内1-6-1 山梨県労働委員会 電話055-223-1827

編集後記

バンクーバー冬季オリンピックでは、今回もたくさんの感動をもらいました。世界では文化も環境も違い、各国間での争いも絶えません。しかし、オリンピックでは1つのルールの下、競技が行われます。私は、これは凄いことだと思います。オリンピックでは、文化も環境も関係なく、みな1つになれました。いつか、オリンピックだけではなく、全てにおいて世界が1つになれば、と思います。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

組合まつり説明会を開催

2月8日（月）に中小企業会館において、第15回中小企業組合まつり開催に係る説明会を開催した。

今年の組合まつりは、「今こそ発揮 中小企業の底力」をテーマに3月7日（日）にアイメッセ山梨で開催されるが、今回の開催趣旨及び開催に向けての新たな取り組み状況の説明を行った。

松葉実行委員長は、「組合まつりは、中小企業者や組合の活動内容を県民・市民に理解してもらうための唯一の機会である。今年は、中央会として、新たにFM富士のラジオCMを行うなど、集客対策を行う。出展者は、自らが楽しみ、出展に創意工夫を行うとともに、お客様への日ごろの感謝の心を込めたサービスを行い、中小企業及び組合の存在を大いにアピールしてもらいたい。」と熱く語った。

また、まつり担当者からは、現在の出展状況、来場者に楽しんでもらう集客イベント等の展開として、来場者プレゼントや中小企業や組合を知ってもらうためのクイズ大会の開催、賑わいと楽しさの演出のための食関連の体験型イベントの実施、中小企業の歴史をたどる「やまなし産業タイムトンネル写真館」や山梨県菓子工業組合の「武田兵糧丸」の発表・試食会の実施などの説明が行われた。

また、2月25日には出展者説明会が開催され、出展に向けての各組合の意欲の高まりが感じられ、終了後も、個別の相談が行われた。



組合まつり説明会の様子

やる気と潜在能力のある 中小企業を応援します

YAMANASHI GUARANTEE



山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田二丁目2-1
TEL (055) 235-9700(代)

富士吉田支店 富士吉田市下吉田1832
TEL (0555) 22-0992

みんなおいでよ！ 中小企業組合まつり

日時 平成22年 3月7日（日） 9:00～

場所 アイメッセ山梨 甲府市大津町2192-8

入場
無料

得 お買得がいっぱい！

- 光り輝くジュエリー
- 新鮮お野菜
- おいしい漬け物
- 地場産ワイン
- 春いっぱいガーデニング！……etc

遊 みんなで遊ぼう

- ミニ蒸気機関車＆ソーラー新幹線
- ふわふわ巨大遊具
- 木工教室
- 動く自動車大集合！
- ちびっ子空手演舞

福 子供＋おとなも ○×クイズ&ジャンケン大会

知 ワクワク！ドキドキ！ やまなし産業タイムトンネル写真館

何もらえるかは楽しみ
早 先着 2010名様
来場者プレゼント

楽 ワクワク！ドキドキ！ 体験コーナー

- キムチづくり、味噌づくり体験
- エアバックで安全体験
- 整体でスッキリ
- ド迫力 自衛隊がやってくる！
- あなたは大丈夫？メタボチェック……etc

味 おいしいものたくさん！ 屋台広場

- うどん・ラーメン
- 焼きそば・ほうとう
- フランクフルト

同時開催 第9回 介護健康フェアinこうふ

主催：介護健康フェアinこうふ実行委員会
甲府市介護サービス事業者連絡協議会

● 内容が一部変更になる場合があります。詳しくは、3月6日（土）の山梨日日新聞紙面をご覧ください。

● 主催・お問い合わせ先 山梨県中小企業団体中央会 TEL.055-237-3215 URL <http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/>

「けんみん信組 ビジネスローン」

事業者向けローン

ご融資期間
最長5年!!

ご融資金額
50万円～
最高500万円!!

スピード
審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人（協同組合は不可）および確定申告を行っている個人事業主
- 農林水産業の方も申込できます。
（但し、業種によっては受付出来ない場合があります）
- アイフル株式会社の保証が得られる方
※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー

YKS 山梨県民信用組合

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151
<http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp>

情報BOX

シニア就業支援プログラム事業

55歳以上で雇用就業・社会参加を希望する高齢者に地域ネットワークと連携して支援します。

まだ55歳
もっと
働きたい



山梨県シルバー
人材センター連合会へ
登録

企業、事業主

登録企業・事業主募集中!

55歳以上の人材を求めている企業は山梨県シルバー人材センターに登録して下さい。
常用雇用、パート雇用、臨時雇用での人材ニーズがあった場合はハローワークと連携し雇用に結びつけます。

問い合わせ・お申し込み

山梨県シルバー人材センター連合会
〒400-0355 甲府市飯田三丁目3-28 TEL.055-228-8383 FAX.055-228-8389